

## 平成 29 年度第 3 回 鹿児島労働局公共調達監視委員会の議事概要

日 時：平成 30 年 2 月 21 日（水）14 時 00 分～15 時 00 分

場 所：鹿児島合同庁舎第 2 会議室

出席委員：

采女 博文（鹿児島大学名誉教授）

大脇 通孝（弁護士）

森 征一郎（税理士）

### 1 開会

### 2 委員長の選出

委員の互選により、采女博文委員が委員長に選出された。

### 3 審査

事務局から、今回の審議案件は平成 29 年 7 月から 12 月までに契約が締結された「公共工事の競争入札によるもの」3 件、「公共工事の随意契約によるもの」は対象案件がなく、「物品・役務等の競争入札によるもの」10 件、「物品・役務等の随意契約によるもの」2 件の合計 15 件であることを説明し、去る 2 月 8 日に開催した公共調達審査会の審議において、全案件について承認されたことが報告された。

(1) 公共工事に係る競争入札案件の整理番号 1～3 について、事務局の会計第 2 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおりであった。

整理番号 1（鹿児島公共職業安定所トイレ改修工事）について

（委員）入札 1 社のみとなっているが、落札業者は清掃会社ではないのか。工事部門は委託したのか。

また、整理番号 1～3 とも、紙による入札業者が落札している。開札はどのように行っているのか。電子入札の方が、情報が洩れずに、競争には望ましいと考える。

整理番号 1～3 のうち、2、3 は予定価格に近い落札率であるが、1 については

落札率が低くなっている。予定価格はどのように算出したか。

(回答) 落札業者は工事部門もある会社である。

開札については、会場を準備し、紙入札については入札書の封をその場で開封する。その後、紙入札分を電子調達システムへ登録作業を行い、開札のボタンをクリックすることで電子入札分も合わせた開札結果一覧が表示される。

予定価格の出し方については、整理番号 1 については労働局内では取扱い事例が少なく、インターネットで一般的な価格を調査し、予定価格を設定した。整理番号 2 と整理番号 3 については、過去に取扱いがあったため、前例を参考に予定価格を算出した。

整理番号 2 (出水公共職業安定所トイレ改修工事) について

(委員) 整理番号 2、3 の電子入札業者は、同一業者か。

また、1 と 2、3 の公告期間に 1 日ずれがあるのは何故か。

(回答) 整理番号 2 の電子入札業者は出水の業者であり、整理番号 3 の業者とは異なる。

入札に 1 日ずれがある理由は、当初整理番号 1~3 をまとめて入札を実施したが、県内広域のため同時に工事可能な業者がなく、入札は不調に終わった。そのため再度、個別で公告することとしたが、同日に 3 件の入札は困難と判断し 1 日ずらしたものである。

整理番号 3 (指宿公共職業安定所トイレ改修工事) について

(委員) 電子入札の業者はどこ地域の業者か。

(回答) 指宿の業者であり、整理番号 2 の電子入札業者とは別である。

以上の意見を経て、公共工事に係る競争入札案件の整理番号 1、2、3 は適正と承認された。

(2) 物品・役務等に係る競争入札案件の整理番号 1、4、9 について、事務局の会計第 1 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

整理番号 1 (求職者支援訓練修了者等に対する就職支援講座) について

(委員) このような事業に対応できる業者は県内でどの位あるのか。

全て電子入札にする方向にしては如何か。

(回答) 対応できる業者の数は把握していない。

入札方法については、入札説明書交付時に出来るだけ電子での入札をお願いしているところである。

整理番号 9 (H29 機密文書廃棄処分業務委託) について

(委員) 整理番号 9 だけではなく全体的に応札者が少ない。少ないと競争にならない場合がある。

整理番号 9 は単価契約か。

予定価格の数字はどのように算出しているのか。

事業は、合計がこの落札金額になったら終わるのか。廃棄文書数が増えたら比例して金額が増すのか。

(回答) 署所等より廃棄予定数量の報告を受けており、それを基に予定数量を算出し、前年度の入札業者の平均単価より予定価格を算出する。契約は 1 k g あたりの単価による単価契約。実際の書類廃棄数量は予定数から増減があるが、単価額を廃棄数量にかけた額を業者に支払うということになる。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の整理番号 1、4、9 は適正と承認された。

(3) 物品・役務等に係る競争入札案件の整理番号 2、3、5 について、事務局の会計第 2 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

整理番号 2 (鹿児島労働局雇用保険電子申請事務センター設置に係る物品購入) について

(委員) 電子入札の不参加があるがどういう理由か。

入札業者の価格の幅が数万円程度しかないため、競争していることがわかる。

(回答) 不参加とは、入札の申込みはあったが、実際応札はなかったもの。入札書の提出前に参加資格の確認を行うため、まず参加の申込み手続きがある。

不参加の場合は、入札参加者数には参入していない。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の整理番号 2 および 3、5 は適正と承認された。

(4) 物品・役務等に係る競争入札案件の整理番号 6、7、8、10 について、事務局の会計第 2 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

整理番号 7 (大隅公共職業安定所外 1 官署空調設備計画整備) について

(委員) 開札結果一覧表で辞退している業者がいるが、不参加とは違うのか。

(回答) 不参加と辞退の違いとして、辞退とは辞退届が出されたもの。電子調達システム上ある手続きである。不参加は、何も連絡はなかったものである。

整理番号 10 (ワークプラザ天文館外 1 官署における複合機の購入及び保守点検業務一式) について

(委員) 落札率が 40%となっているが、業者のコスト計算は合うのか。

初めての業者か。元々は警備会社ではないのか。次のランニングコストのために安く入札する場合もある。

(回答) 落札実績はあまりない業者であるが、警備部門もある会社である。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る競争入札案件の整理番号 6、7、8、10 は適正と承認された。

(5) 物品・役務等に係る随意契約案件の整理番号 1 について、事務局の会計第 1 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

整理番号 1 (実践型地域雇用創造事業) について

(委員) 前の分と合わせると 1 億 3 千万円弱である。随意契約を監査することが、公共調達監視委員会の本来の意図であると思うが、この金額が妥当なのか判断しかねる。うまく結託することもできるし、もっとシビアになったら数字が違いかもしれない。

(回答) 本省で選抜され、局で契約をしているものである。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る随意契約案件の整理番号 1 は適正と承認された。

(6) 物品・役務等に係る随意契約案件の整理番号 2 について、事務局の会計第 2 係長が、公共調達監視委員会審査調書等により説明した。

説明終了後に委員からなされた質問、意見およびそれらに対する事務局の回答は以下のとおり。

整理番号 2 (鹿児島労働局雇用保険電子申請事務センターの設置に伴うパーティション設置及び証明回路変更工事一式) について

(委員) このような案件が随意契約であるが、建物は竹中工務店が作ったものなのではないか。賃貸借契約上、借主が指定する工業者に委託するとの契約であれば仕方がない。

以上の意見を経て、物品・役務等に係る随意契約案件の整理番号 2 は適正と承認された。

#### 4 案件の承認

全ての案件について、委員からの異議はなく、適正として承認された。

#### 5 次回公共調達監視委員会の開催予定

平成 30 年度第 1 回目の公共調達監視委員会については、平成 30 年 6 月頃の開催とし、各委員の日程調整を行ったうえで決定する。